

パチンコ新台動向 & その対応は？

- ・ 去年と今年の販売動向は？
- ・ やっぱり・・・SSKが中心か？
- ・ リユース販売への対応は？

去年と今年の販売動向は？

■1年間のパチンコ販売台数

- ・2008年＝約**400万台**。 ・2009年＝約**350万台**。
- ・2010年＝約**290万台**（60万台減・前年対比－15%）
- ・そして2011年は？…3ヶ月の状況から見ると、【概ね240万台】程度と予想。
（年間＝50万台減・前年対比－17%・月販売台数＝20万台程度）
- ・いずれにしても、『増える事・昨年同等は有り得ない』…と予想。（by TKC）

■その理由は…

- ・【**低玉貸し営業**】の増加！？…全国（専門店 & 併設店）の「約2/3」が営業。
更に営業台数の増加傾向は止まらない。（新規開設 & 別単価で増台等）
 - ・【**粗利益額**】の低下！？…即ち、遊技機投資額の減額は必然の流れになる。
【粗利益額低下】の原因は、（1）4パチの稼動低価。（2）スロットへの変更。
どちらへの方向性も、台粗利益額の減少化は否めない。
- <参考>「玉粗利」での営業戦略は、4パチアウト＝2万を下回ると無意味。

やっぱり・・・SSKが中心か？

■2010年の、ビッグ5メーカー(24メーカー中)

- ・(1)三洋物産 (2)ニューギン (3)京楽産業. (4)ビスティ (5)サミー
・・・合計168.4万台(58.1%)
- ・ちなみに、ランク10位までが、10万台以上の販売メーカーになる。

■2011年のランキング予想！？(by TKCの身勝手予想)

- (1)京楽産業. (2)三洋物産 (3)サミー (4)SANKYO (5)ニューギン
(6)ビスティ (7)大一 (8)平和 (9)サンセイR&D (10)マルホン
- ・所詮、「ビッグコンテンツ」次第ではあるが、問題は「海物語」「北斗の拳」「エヴァ」「慶次」「GARO」等々の発売日程次第ではあるが・・・
- ・更に、ウワサされる、「大当り確率制御」「出玉抑制」等々を含む、【射幸心の抑制】問題が具体化される可能性も、完全否定は出来ない。

リユース販売への対応は？

■2010年の【リユース対応】メーカー

(A)「**新台購入への対応のみ**」のメーカー…京楽産業・大一・マルホン・豊丸産業

(B)「**中古購入も対応**」のメーカー…ニューギン・サンセイR&D・SANKYO・高尾

(C)「**2011年・対応確定(予定)**」のメーカー…

・ビスティ(確)・サミー(確)・藤商事(確)・タイヨーエレクト(予)

・ソフィア(予)・エース電研(予)・奥村遊機(未)

・最終的には、**【年内11～14メーカー】**(予定含む)は想定出来得る。

■活用は「必須！」となるが、「利用での注意」もある。

・今後も、メーカー販売戦略としては、**【低確率機種**の先行販売】⇒**【数ヵ月後の甘・ライト機種**の販売】が中心となるであろう。であるならば、その傾向への対応が必要である。

・「遊技代コストの軽減」が最大の目的ではあるが、併せ、**【甘デジの充実化と稼動確保】**も導入意味合いとして、同時に併せ持つ事となる。**(甘デジの安定化は4パチ営業で最重要)**

・活用での注意は、**【チェーン店での活用】**になる。「低確率機種設置店でのリユース導入」は、極力避けて、**【チェーン店移動させてのリユース活用】をメイン**とすべき。

【同一コンテンツによる稼動低下】を避けると共に、低確率機の購入抑制にもなる。